

2018年度

# 人権通信 「一期一会」

発行 石井中学校人権部 第3号 2018. 9.

## 人権意見発表会と全校合唱

6月20日に校内人権意見発表会がありました。発表者の皆さんありがとうございました。学校で行われる行事はたくさんありますが、その後の生活が高まってこそ意味あるものになります。みなさんは、今回の人権意見作文の執筆を通して、「人権」について深く見つめたことと思います。それぞれが、「差別・いじめのない学校」にしていくために、行動にうつしていきましょう。代表者の思いを受け止めた感想の一部を紹介します。

☆仲間の意見発表を聴いて☆

- 私は今日の人権意見発表会や学年の発表会で、自分の人権に対する意識を改めて考え直すことができました。自分も気付かないうちに心のどこかで差別意識がある、だめなことだと分かっているけど完全には差別意識が消えていないということに、6人の発表を聞いて気付きました。やっぱりどの人権問題に対しても、周りの人たちが知識をもって、理解することが大事だと感じました。理解することは、簡単ではないと思うので、私はたくさんの人に正しい知識を伝えていきたいと思います。また、自分の周りで、いじめや差別をする人たちがいたら、傍観者、加害者になるのではなく、自分が正しいと思う行動をとりたいです。
- 私は、人権意見発表会で皆さんの発表を聞いて、自分の意見をしっかり持っていて、すばらしいと思いました。私が思っていたよりも深く人権について考えていて、「この人はこういう考え方なのか」「ああ、こういう見方もあるのか」と私もいろいろと考えさせられるような、よい機会になりました。校長先生もおっしゃっていたとおり、私も、全員の作文には共通なことがあったように思います。「どんなことがあろうと、差別することはいけないことである」「世界のいろいろな問題、差別や偏見と向き合っていくべきであって、軽く見ないようにする」などです。それぞれ話していたことは違っていても、みんな同じ思いを持っているのだと思います。だから、私もまだ根強く残っている差別と向き合いたいです。「人は遠くのことなら美しく生きられる」口だけでは差別をなくそうと言っていたとしても、いざ身近なこととなると行動に移せないこともあると思います。もしかすると、私も行動に移せていないかもしれませぬ。しかし、今、私にできることはきちんとしたいです。この発表会は、私に大きな影響を与えてくれました。今日の発表をしっかりと心に留めておきたいと思います。
- 今日の人権意見発表会を聞いて、発表してくれた人たちが、自分のことについて話してくれて、言いつらいことを話す勇気があってすごいと思いました。あまり人には言いたくなかったという言葉もあり、それを乗り越えて伝えてくれたことを、無駄にしないようにと思いました。間違っただけのを伝統として受け継いでいかず、正

しい知識をもっともたなければいけないと思いました。自分が少しでも周りに気を配り、勇気を出すことができれば、助けることができる人もいるんだなと思いました。これからは、今まで以上に友達の様子を見て、相談にのったり、助けることができたらと思います。

- 発表してくれた代表の6人の作文は、どれも感動しました。自分の経験を語ってくれた人は、勇気がとてもいただろうなと思いました。でも、それを打ち明けることで、誰かのためになるかもしれないと考えているのは、すごいと思いました。自分を変えたいという気持ちが伝わってきました。自分も、障がいをもっている方や高齢者の方に対して、知らない間に、差別する心が残っているのかもしれないと思いました。いじめは、私にとって、遠いものと思っていました。でも、今では、私も人を傷つけてしまったことがあるということが分かりました。自分はしてはいいないと思っても、相手からすると、とても嫌なことかもしれません。だから、これからは相手の立場になっても、考えられるような人になりたいです。そして、うその自分ではなく、ありのままの自分であるということが分かりました。今までの自分を振り返ると、何も分かっていなかった自分に、怒りがこみあげてきます。だから、これからは、誰にでも、優しくできる人、相手の気持ちを考えられる人になりたいです。自分を見つめ直すいい機会になりました。

9月11日の体育祭、16日の文化祭では、学級のために一人一人が力を合わせて努力していました。文化祭のフィナーレでは、毎年恒例となっている全校合唱が行われ、素晴らしい歌声が体育館に響き渡りました。石中祭でさらに強くなった絆を今後の学校、学級での生活に生かしていきましょう。

全校生徒で歌った「花は咲く」は東日本大震災の復興支援ソングとして耳にした人も多いことでしょう。作詞を担当した岩井俊二さん、作曲を担当した菅野よう子さんも被災した宮城県の出身です。岩井さんは作詞をするにあたり、「亡くなった人たち、生き残った人たち、あの震災を遠くから心配していた人たち、3.11から今に至るまで、それぞれが一体どんな想いをしているのか、数行では到底描きようもない想いの、せめてわずかな片鱗でも書き留めることができれば」という想いを込めたそうです。また耳にすることや歌う機会があれば、何のため、誰のために歌われた曲かをぜひ意識してみましよう。

## **中・高生による人権交流集会 2018**

**2018年12月16日(日) 9:00~17:00**

**教育会館**

第3回中部ブロック生徒部会は10月20日(土) 14:00~16:30

徳島科学技術高校

中部ブロックで担当する分科会のテーマが「在日コリアン」に決定しました。

石井中学校以外の高校生や中学生とも人権課題について話してみませんか？

※ 詳しくは、森口まで